鶴ヶ島市立藤小学校

令和８年度　第３回　藤小学校運営協議会　　会議録

令和８年１１月４日（水）
１１時００分～
於：藤小学校家庭科室
進行：藤小　教頭

※　業間参観　　９時５０分～１０時１０分
　　授業参観　　１０時１０分～１０時５０分
　　協議会　　１１時００分～１２時３０分
　　給食試食会　１２時３０分～１３時１０分
　　お話会　　１３時１５分～１３時３５分

１　開会のことば　　教頭

２　あいさつ

会長

・寒暖差が激しく体調を崩す児童も見受けられるため、健康管理に配慮したい。本日の熟議にて皆様のお知恵を頂きたい。

校長

・運動会が無事に終了し、今月は体力作り月間として外部水泳やマラソンに取り組んでいる。
・教育委員会作成の説明動画を通じて学校運営協議会の意義を再確認し、子どもたちのために大人としてできることを一緒に考えていきたい。

３　協議・熟議等（進行：会長）

(1) 学校運営協議会に関する説明動画視聴

〇教育委員会作成の動画を視聴し、制度の意義や目的を共有した。

・**目的と姿勢**：協議会は単なる要望・意見交換の場ではなく、地域と学校が同じ目標を共有して主体的に参画し、協働で学校を創るための合議制機関である。
・**熟議と実践**：立場を超えて話し合い納得解（合意）を形成した上で、委員がコーディネーターとなり「協議と活動の両輪」で実践・改善を推進する。
・**活動例と効果**：学習支援、見守り、環境整備など「できる人ができることを行う」ことで、教員の働き方改革や地域の次世代育成・居場所づくりにつながる。

(2)　前回の熟議を受けて（学校応援団について）

・**委員**：前回、児童が作成した応援団募集ポスターの進捗について確認した。
・**委員**：原本データを学校公開日等でPR・活用できるよう準備を進める。
・**委員**：原本は街頭等への掲示も検討したい。

(3) 熟議：教職員の働き方改革について（保護者・地域ができること）

文部科学省の役割分担3分類（学校以外が担うべき業務、積極的に参画すべき業務、負担軽減を図る業務）を踏まえ、地域・保護者が協力できる具体的な取り組みについてグループ別に熟議を行った。

○A グループ

- 理科の実験準備やミシンボランティアの事前講習・準備、低学年の給食配膳サポート。
- 校内に応援団が立ち寄れる交流ルーム等の拠点があると、活動参加や休憩が円滑になる。
- 登下校の見守りや、学校と外部とのワンクッション（第三者機関的役割）としてのサポート。

○B グループ

- 高学年児童や中学生（部活動等）による学習サポート、公民館サークルや地元企業等のリスト化と協力要請。
- 応援団の参加ハードルを下げる工夫（PR動画の作成）や、児童との交流機会（行事への招待・感謝の会）の充実。
- 校内除草や石拾いなどは、学校公開日など保護者が集まる機会に短時間で協力してもらう。

○C グループ

- 専門技術を持つ人材の確保や、回覧・チラシ等のポストインによる地域への情報発信強化。
- 学校公開日等への地域住民の参観促進、決まった日時に限らない柔軟な参加（清掃、畑の整備・水やり）。
- 応援団専用スペースの設置、ハウスクリーニング等の専門企業やおやじの会との連携・協力要請。

○全体共有（会長）

- コーディネーターと各団体が話し合い、学校へ提案・共有しながら支援体制を整えていく。

(3) PTAのこれから（子どものために保護者がすること）

○委員

- 強制ではなく趣旨・必要性を理解して参加いただく形（任意加入・役員のスリム化・業務の簡素化）へ移行を進めている。
- コンプライアンスの整備や情報共有（広報・HP活用）を進め、保護者の関心を高めていく。
- PTA・学校応援団・学校運営協議会がそれぞれの役割を整理し、全体で連携・フォローし合える関係を目指す。

〇校長

・学校運営協議会が全体を網羅・包括する場として機能し、PTA・応援団・地域それぞれの役割分担をしていくことが理想的である。

〇会長

・相互理解と連携のもと、持続可能な体制づくりを進めていきたい。

４　連絡事項

1. 学校評価ご協力のお願い（12月10日締切）

・藤小学校が目指すべき方向性や、全国学力・学習状況調査および体力調査の結果等の実態を踏まえた視点でのご意見をお願いしたい（校長補足）。

2. 第４回 学校運営協議会

・令和８年２月８日（月）に変更。（幼保小連絡会を併せて参観予定）

3. 第５回 学校運営協議会

・令和８年３月１０日（水）予定

4. その他連絡事項

・全国学力・学習状況調査および体力・運動習慣等調査結果の共有。

５　閉会のことば　　教頭